



jec プレス
Junior Eco Club

2013年3月 編集/発行: こどもエコクラブ全国事務局(財団法人 日本環境協会)
〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-4-16-9F
TEL. 03-5643-6251 FAX. 03-5643-6250

2013.3
こども
エコ
クラブ
の情報紙
エコまるは
(財)日本環境協会の
登録商標です。

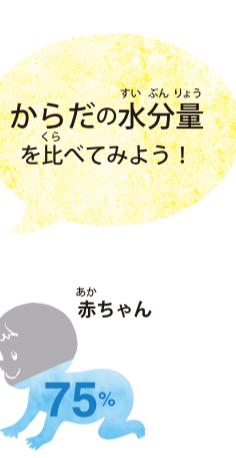
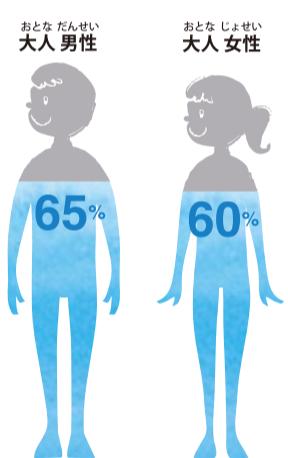
『水』ともくらす

命は海から生まれた」と
聞いたことがありますか?
地球で一番初めに生き物が
生まれたところは、海の中。

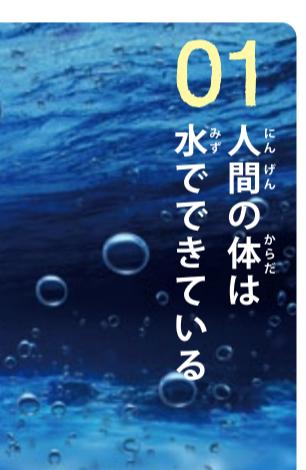
目に見えないほど小さな生き物でした。

水は、海や川、雪や氷、雲や雨、
そして地下水など、いろいろな形になつて
地球をまわっています。
地球の表面の2／3は水。
たくさんあるように思えますが、世界では
水が足りず争っている地域もあります。
とても身近でとても奥が深い水について、
もう少し考えてみませんか。

また、私たちが生きていくために必要なカルシウムやマグネシウムなどのミネラルも、水の中に含まれているのです。



大人になると約60～65%が水分です。その水分は、汗になって体の温度を調節したり、おしつこになつて体温を保つなど、にとって不要なものを外に出すなど、私たちが生きるために働いています。



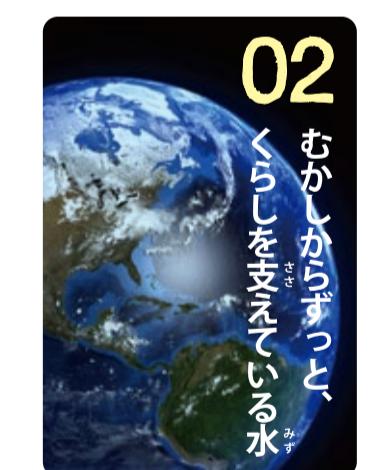
01 人間の体は
水でできている

地
球の水のほとんどが海水で、私たちが生活で使える真水(しょっぱくない水)は約0.01～0.02%しかありません。世界には水が飲めないために命を落とす子どもがたくさんいます。また、国同士で少ない水をうばい合う「水戦争」が起きているところもあります。



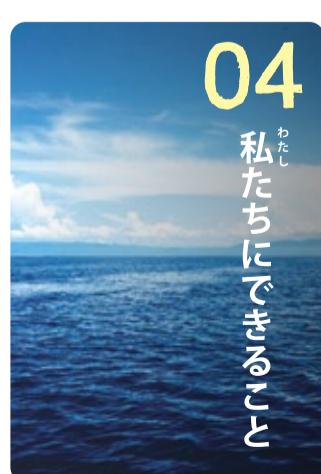
03 世界の水問題

と流れているのです。水は人間の歴史とくらしの中にずっとつけだして川の水になつて、少しずつくらしを支えています。や高い山に積もつた雪が氷になり、それが長い時間の中で氷河になつて、少しずつかけだして川の水になつて、私たちのくらしを支えています。



むかしからずっとくらしを支えている水

では、私たちはどうすればいいのでしょうか? 「もう食料を輸入しない!」ということではありません。まずは、自分の生活を見直してみましょう。水道の水を流しつぶなしにしていませんか? 川や海の水をよごしていませんか? 道の水をむだにしていませんか? 世話をめぐる水を大切にするために何ができるのか? 自分たちがくらしの中でできることを考え、行動にうつしていきましょう。



04 私たちにできること



実は、「水戦争」は、外国だけの問題ではありません。例えば、牛丼を作る時、お米をとぐなど料理をするのに水を使っていますが、牛肉となる牛のえさ(麦、トウモロコシなど)を育てるために水を使っています。牛丼一杯を作るのに必要な水はお風呂約10杯分ともいわれています。私はふだんの生活の中で気づかないうちにおおむね多くの水を使っているのです。多くの食料を外国からの輸入にたよっている日本は、他の国の水をたくさん使っていることになり、水が不足してこまつている国に問題は、私たち日本人にも深く関係しています。

いきものみつけファーム

01 いきものみつけファームとは？

「米の精」を入れた田んぼや畑での、農作業やいきもの観察の体験を通して、豊かな自然のめぐみと環境にやさしい経済からなる持続可能な社会をつくる取り組みです。環境省が実施する身近ないきもの調査「いきものみつけ」とこどもエコクラブ、そして田んぼや畑の土を元気にする「米の精」が協力することによって実現しました。このほかにも地元の市や町、大学、企業など、さまざまな団体が参加し、それぞれの得意なことを生かしながら、協力して活動しています。長野県松本市でスタートした「いきものみつけファーム」、今年は秋田県や滋賀県でも活動が始まります。これからも全国に広げていく予定です。

米の精って？ 米の精とは、とがずにたけるBG無洗米を作るときに取り除かれる肌ヌカのことです。これまで肌ヌカはとぎ汁として捨てられることもありましたが、残った肌ヌカを研究しているうちに肥料として利用できることがわかりました。米の精を使うことにより、捨てられていたものをむだなく利用できるだけでなく、土が元気になっておいしいお米や野菜がとれるようになりました。

※肌ヌカ…お米の表面に残っている粘りけの強いヌカのこと。

こんにちは。ボクはビーゼーだよ。エコな精米技術によって、できた肌ヌカから生まれたよ。自然にやさしい農法にボクがぴったりなんだ。



ビーゼー

02 これまでの活動をご紹介します

いきものみつけファーム in 松本 (2012年)



5/19『田植え』

はじめてのイベントは、こどもたち100人による一斉田植えでした！



8/6『田んぼで生き物観察』

5月に田植えをした田んぼで、生き物観察をしました。



8/9『田んぼで生き物観察 & 授業』

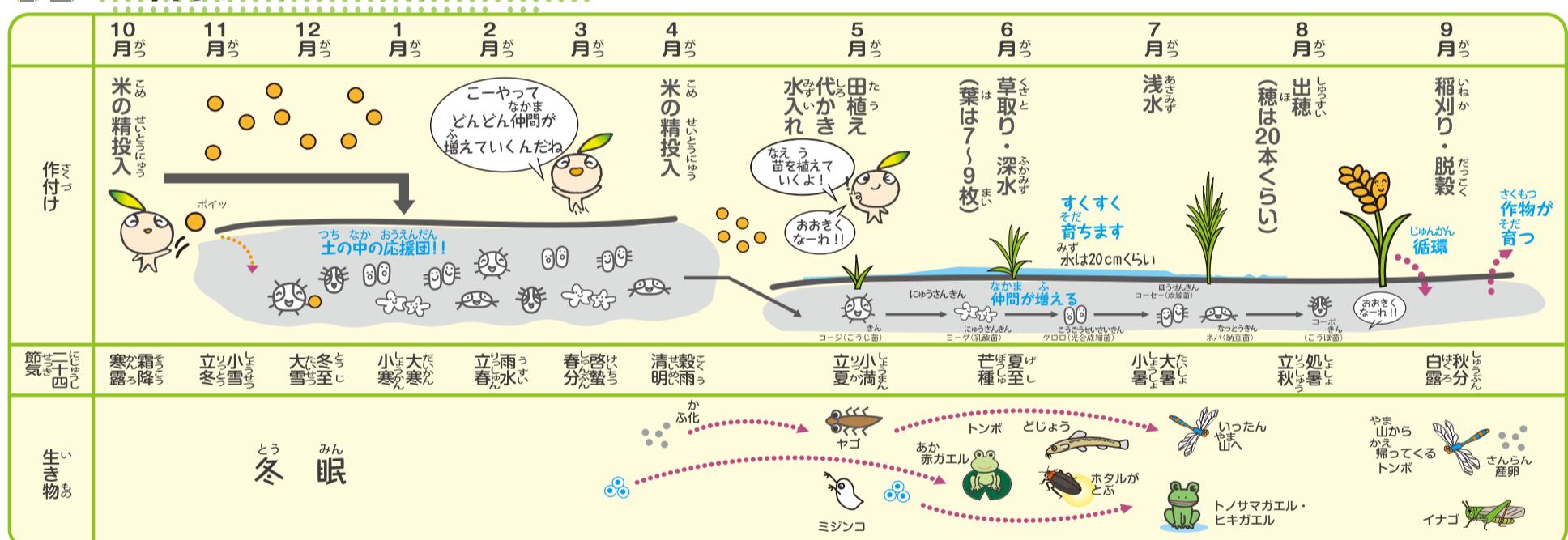
昆虫にとつてもくわしい海野和夫先生と一緒に、田んぼで生き物観察をしました。



9/29『稲刈り』

カマを持って手で稻を刈りとりました。その後、田んぼの中に入り、アマガエルやイナゴを捕まえて遊びました。

03 1年間のスケジュール



東洋ライス株式会社 はいきものみつけファームを応援しています。(<http://www.toyo-rice.jp/>)



どんぐりプロジェクトD

- 被災地で拾ったどんぐりだけを使い、被災地の森林をよみがえらせます！
- 苗木を育てる子どもたち 同士のきずなを大切にします！
- 10万本以上の苗木を被災地に植えることを目標にします！

プロジェクトDでは…

2011年3月11日、東日本大震災の津波により、大きな被害を受けた岩手、宮城、福島の広大な森林。これから何年もかけて何百万本もの植樹を行わなければなりません。『プロジェクトD』（“D”は“どんぐり”的こと）は、全国から仲間を募集し、被災地で拾ったどんぐりから苗木を育て、被災地に送り返して植樹することで、被災地の緑の復興を応援する活動です。

ナムコどんぐりひろいバスツアーin宮城
「国立花山青少年自然の家 南蔵王野営場」にて。



お問い合わせ先 プロジェクトD 全国事務局 [財団法人日本環境協会 内]

ウェブサイト：<http://www.project-donguri.com> e-mail：mail@project-donguri.com
〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-4-16 馬喰町第一ビル9階

TEL:03-5643-6251 FAX:03-5643-6250

協賛 株式会社ナムコ
本事業は平成23・24年度「緑の募金」(東日本大震災復興事業)の支援を受け実施しています。

GISPRI
愛・地球博成果継承発展助成事業
緑の募金



club 01

幼稚園保育園のクラブ

自然・生物多様性

地域の自然を見よう!

いたもちエコキッズ(大阪府富田林市)



手作りマップを首から下げ「いたもちエコキッズ探検隊、いろいろなものを発見するぞ! オー!」と掛け声をかけて勇ましく出発! 歩いている道を地図でたどりながら地域探検をしました。「ビニールハウスで栽培しているものは何?」「畑の作物は?」「この木は?」「この花は?」普段見逃していた木や草花も、図鑑を調べたり、時には地域の人間に聞いたりしてチェック! 幼稚園に帰つてから、大きな手作りマップにたくさんの発見を書き込みました。身近な自然を知って、これからも地域の自然を守っていきたいと思いました!



「ナイス!」
頑張りましたね! どんな所にどんな生き物がいましたか? 小さい時から地域の自然に接して、自然を大切にする心優しい大人になってくださいね♪

Junior Eco Club 活動レポート!

全国のクラブの活動の様子を紹介するよ!

どれもユニークなものばかり。

これからの活動のヒントにしてみてね♪

いつも参加しているみんなの方が大人よりも測定が上手というのはさすがですね! こうした測定の積み重ねが、環境活動では本当に大切なことです。



club 03

学校全般のクラブ

イベント・交流会

わにっ子大フェスタ2012

わにっ子わくわくにこにこクラブ(島根県出雲市)

小学校の学習発表会「わにっ子大フェスタ」で、3,4年生のメンバーが、アサギマダラの観察や研究の成果を発表しました。アサギマダラは渡りをする不思議なチョウです。わかりやすく、楽しい発表にするためにどうしたら良いか考え、劇にして発表することにしました。たくさんの方に発表を見ていただき、私達の取組みを理解してもらえて、とても嬉しかったです。今年は秋の飛来数が少なくて残念でしたが、来年も続けて観察したいと思っています。



「グッジョブ!」
劇にして発表した工夫が素晴らしい。調べたことを周りの人にわかりやすく伝えることも、同じくらい大事なことですからね!

クイズの森

森は、私たちにとってとても大切な役割を果たしています。
その役割とはなんでしょう? 右の1~3の中から選ぼう!

さあ! 答えは、
どれかな?

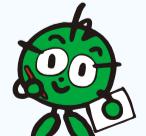
1

酸素をつくりだすよ。



2

ゴミをリサイクルするよ。



3

電気などのエネルギーをつくり出すよ。



▶▶▶▶▶ ごた 答えは、8ページへ

club 02

近所や地域のお友達のクラブ

水

わくわく水質調査

自然と文化の森協会・猪名川キッズクラブ(兵庫県尼崎市)

藻川と猪名川で4か所の水質調査をしました。藻川にはヒメボタルがたくさんすんでいますので、普段から河原のゴミ拾いなどをしています。今回の調査はサポートーの大人も一緒に測定キットで測ってましたが、いつも参加している私達の方が上手でした♪ 水質はこれまでとあまり変わらず。水温が低く10度だったのに、下水処理場の下流で測つたら18度もあってびっくりしました。この水質はCOD8mg以上でとても悪いのですが、水温が高いためか大きな鯉がたくさん泳いでいました。



いつも参加しているみんなの方が大人よりも測定が上手というのはさすがですね! こうした測定の積み重ねが、環境活動では本当に大切なことです。

すごい!

club 04

児童館のクラブ

自然・生物多様性

児童館のクラブ

上郷児童館こどもエコクラブ(岩手県遠野市)

夏休みに、遠野市の虫博士として有名な葛西先生や市の環境課の方の指導のもと、早瀬川にどんな生き物がいるのか採取して調べました。とても暑い日でしたが、猛暑に負けず、4,5年生が中心となって楽しく活動できました。はじめはおつかなびっくりだったけど、だんだん楽しくなってきて、石をひっくり返して振つてみたりして網にかかった生き物を見つけると「あ、いた!」「また採れた!」「これは何だろう?」と声が上がりました。



はじめはおっかなびっくり、そのうち夢中になって生き物を探す、とっても楽しんでいるみなさんのようにが目に見えますよ。でも、すべてでころんだけがをしないように、楽しい体験を続けてね!

いいぞ!

おかげ 今まで 第20回 コカ・コーラ環境教育賞

環境について 新しい提案への応援 つづ 続けています。

1994年にスタートしたコカ・コーラ環境教育賞。環境についてたくさんの提案が寄せられました。

これまでの皆様のご協力に感謝すると同時に、今後も環境に対する活動、提案を応援して行きます。

コカ・コーラ環境教育賞とは

環境を守るボランティア活動や環境についての新しい提案を応援するためにつくられたのが、コカ・コーラ環境教育賞です。小・中学生を対象にした「活動表彰部門」と高校生・大学生を対象にした「次世代支援部門」に分かれています。

環境について活動していること、みんなで考えて
いること、大募集、みんなの参加を待ってるよ!

表彰の内容

活動表彰部門
大賞 50万円×1組
優秀賞 10万円×9組

次世代支援部門

大賞 100万円×1組
優秀賞 30万円×4組



雨煙別小学校 コカ・コーラ環境ハウス

募集していること

活動表彰部門 … 小・中学生を対象
地域社会の環境教育についての活動を評価して、
さらに広がるように応援します。
・小学校や中学校で行っている環境教育
・ボランティア団体で行っている環境を守る活動
・地域で取り組んでいる環境についての勉強会など

次世代支援部門 … 高校生・大学生を対象
学生による環境保全、環境啓発に役立つ提案を
評価して、実施に向けた支援を行います。
・未来の地球環境に役立つ環境技術の開発
・子供たちが環境を学ぶことができる教育ツール制作
・環境の大切さを伝える環境イベントの開催

最終選考会

最終選考会は、一次選考を通過した各部門のノミネート団体を招待して、プレゼンテーションを行ってもらいます。



今年も8月に最終選考会を開催

4月、募集開始!

募集期間 4月1日(月)～5月31日(金)



財団法人 コカ・コーラ教育・環境財団 <http://www.cocacola-zaidan.jp>

エコまるの『みつけて むすぼう!』

いろんなところで
たくさんの“はる”をみつけよう!

いきものやくさばなとみつけたばしょを
せんでむすんでね!



どんなところでみつかるかな?
ほかにはどんな
いきものがいたかな?



テントウムシ



ウメ



なのはな(アブラナ)



モンシロチョウ



ツクシ



Information for supporters

サポーターズ広場

楽しく活動を続けるための『安全』について

子どもたちを温かく見守り、支えてくれているサポーターの皆さん、活動する中で一番気をつけていること。それは『安全』です。水辺の生き物調査、キャンプ、植林活動など、クラブによっては自然の中で活発に活動することがあるかと思います。事故のないように気を配りながら子どもたちのサポートをするのはとても大変ですね。ここでは、安全確保の基本的なポイントについて、ご紹介します。活動内容に合わせて適宜ご参照ください。

ポイント
01

事前準備はしっかりと!

活動する場所が決まったら、
あらかじめ現地調査しておこう。

活動当日のルート、危険と思われる箇所、危険な動植物がないか、倒木や枯れ木(倒木の危険があるところも含む)、トイレや飲料水がとれる場所、緊急時に応える施設(医療機関やビジターセンターなど)などを、確認しておきましょう。

ポイント
02

活動にあった身支度を!

屋外での活動ではフィールドにあった
身支度が必要です。

①長そで、長ズボンで動きやすい服装である(安全に動ける)こと。②手さげカバンはさける。(両手があくように)③保温性に優れていること。④日中の活動は帽子の着用すること、を基本として「地図」や「ルーペ」「筆記用具」など活動内容や場所に合わせた身支度をしましょう。
特に、水辺の場合は「ライフジャケットの装着」(特に子どもは必須です)が重要です。必要に応じてヘルメットの着用も考慮しましょう。

ポイント
03

参加者自身にも 安全の心がけを!

危険な場所、危険な行動、禁止区域、危険な動植物などについて事前に伝えておこう。

どこにどんな危険があるか・何に注意をしないといけないかを必ずメンバーに説明しておきましょう。

体調管理はメンバーとサポーターの両方で天候や体調の変化があったときは、無理をしないこと・無理をさせないこと。

何らかの変化があればサポーターにすぐ話すように、しっかりと伝えておきましょう。



水辺や森林など、自然があふれるところは子どもにとってとても楽しいフィールドです。せっかくの活動を楽しく・充実させるためにも、安全管理についてあらためて考えてみる機会を持つてみてはいかがでしょうか。

※こどもエコクラブでは、クラブの登録と同時に、クラブ主催の行事(活動)中にサポーターの運営・管理上のミスにより、第三者に損害を与え、法律上の賠償責任を負った場合に保険金が支払われる「賠償責任保険」に加入しています。



私たちこどもエコクラブを応援しています。
コカ・コーラ、東洋ライス、東京都民銀行、エフピコ、キッズステーション、大和ハウス工業従業員、東京ガス、トヨタ自動車、ファミリーマート、ベネッセコーポレーション、三井住友銀行、三井住友海上火災保険

後援：環境省